

松濤園には4棟の展示館があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用しています。その周りを三之瀬瀬戸を借景とした日本庭園が囲み、散策しながら歴史に触れることができる施設です。

松濤園の情報を発信中♪



## 陶磁器館 Ceramic Museum

### 柿右衛門の赤と、 余白の美



色絵梅島園龍文鉢（伊万里・柿右衛門様式）1680-1700年代

伊万里・柿右衛門様式のやきものといえば「赤絵」「余白」「濁手」などの言葉があげられます。様式名の由来となった初代酒井田柿右衛門（1559-1666）は、400年ほど前の肥前・有田で色絵を完成させたとされます。彼の生み出した「赤」の絵具にまつわる秘話や、やきもの全体のバランスに大きくかわかる「余白」の力、また柿右衛門様式の特徴的な素地である「濁手」について、所蔵作品とともにご紹介します。

また、期間中に開催する『いけばな × 松濤園 歴史がつむぐ花と美』にちなみ、「花入」の特集展示コーナーを設けます。古伊万里のみならず、さまざまな花入をお楽しみください。

## 朝鮮通信使資料館 御馳走一番館 Commemorative Museum of Korean Missions

### 下蒲刈の歴史

#### — 朝鮮通信使と琉球使節団

瀬戸内海交通の要衝として栄えた下蒲刈島には、江戸時代に西国大名の参勤交代や琉球使節団の江戸上り、朝鮮通信使が立ち寄った歴史があります。幕府は日本の将軍の襲職を祝う使節として琉球国王へ慶賀使を、また、琉球国王の即位を感謝する意を込めて謝恩使の派遣を求めました。朝鮮王朝へも、徳川幕府の慶賀の使節として朝鮮通信使の派遣を求めました。瀬戸内海は当時、外国の使節が行き交う重要な海の道でもあり、下蒲刈島はその使節団が立ち寄る海の駅でした。

本展では下蒲刈の歴史を、所蔵資料を通してご紹介します。



「朝鮮船団」紙本着色

## いけばな × 松濤園 歴史がつむぐ花と美

2023年  
2月16日[木]~20日[月]  
会場 松濤園館内

協力 華道家元池坊 中野須賀子

[主催] 公益財団法人蘭島文化振興財団・呉市

[後援] 一般財団法人池坊華道会

「いけばな × 松濤園 歴史がつむぐ花と美」では、日本の伝統文化の一つであり様々な日本の美が集約された華道によって、松濤園にお越しの皆様をおもてなしします。梅花でいろづく瀬戸内の島々を眺めながら、いけばなの魅力をお楽しみください。



### 蒲刈島御番所（復元）

GOBANSHO (Guard House)

江戸時代、この下蒲刈にあった番所を、上関町に現存している番所を元に復元しています。



### あかりの館（旧吉田邸）

Lamp Museum

山口県上関町から移築した商家を利用して、世界の灯火器を展示しています。



### 周辺施設 のご案内

#### 蘭島閣美術館

広島県呉市下蒲刈町三之瀬200-1 ☎0823-65-3066

所蔵品展V  
黒の魅力

#### 蘭島閣美術館別館

広島県呉市下蒲刈町三之瀬195 ☎0823-65-2500

所蔵品展IV  
寺内萬治郎の油彩画  
1/18(水)~5/8(月)

#### 三之瀬御本陣芸術文化館

広島県呉市下蒲刈町三之瀬311 ☎0823-70-8088

所蔵品展V  
須田国太郎と京都ゆかりの芸術家  
2/8(水)~4/17(月)

### 交通 Access



#### 広島市内から車で約1時間

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡って最初の島が下蒲刈町です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。駐車場から松濤園まで80m。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈！  
詳しくは、くれ観光情報プラザ TEL.0823-23-7845まで。

#### 広島市内からバス

広島バスセンターから、さんようバス株式会社運行のバス「蒲刈・豊浜・豊」行きに乗車。下蒲刈町内の「見戸代棧橋」停留所で、接続するバスに乗り「三之瀬」停留所下車。停留所から松濤園まで100m。

#### 呉から電車とバス

JR呉線で広駅または仁方駅下車。駅前最寄りのバス停留所から瀬戸内産交株式会社のバス「田戸・大浦・富農センター・沖友天満宮方面」行きに乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所下車。停留所から松濤園まで100m。

バスに関するお問い合わせ 瀬戸内産交株式会社 ☎0823-70-7051

※感染拡大の影響により、日程等変更や臨時休館になる場合があります。その場合にはHP等におきましてお知らせ致しますので、ご確認ください。